

キャラクター名

プレイヤー名

シンドローム、ワークス、UGNエージェントA、カヴァー、高校生、オプション、年齢、性別、覚醒、命令、衝動、恐怖、初期侵食率、32%、出自、91:双子、経験、89:親友、邂逅、93:好敵手

基本値、ワークス、ボーナス、成長、他修正、能力値、HP、33、行動値、9、(非装備時)、9、戦闘移動、14、全力移動、28

肉体、感覚、精神、社会、技能、SL、修正、白兵、回避、3、射撃、知識、意志、知識、情報: UGN、1

武器・コンボ、能力、命中値、G値、攻撃力、射程、メモ

防具、価格、装甲、回避、行動、メモ

所持品、ロイス、対象、感情(pos)、感情(neg)、タイムス、消費、最大財産P: 4、残り財産P:

スキル名、SL、コスト、タイミング、射程、対象、判定、制限、メモ、ワーディング、リザレクト、カスタマイズ、レインフォース、赫き剣p116、鮮血の一撃p117、血族p117、クイックダッシュup170、コンサートレイト:ブラム=ストーカー-p169

猪突猛進!
自分がレネゲイドウィルスで苦しんでいるからこそ、それを殺人やテロに利用する奴らを許せない。
だからこそ暴走がちではあるものの、自身に宿ったこの力を使っていけずかねえ奴らをぶっ倒す!!!
多少熱いところはあるものの、明るく気のいい性格で教師やクラスメイトから好かれていた。
そんな毎日平和で笑顔に溢れた日々だった。
しかし約半年前、突然オーヴァードとしての力が覚醒した。
運悪く、クラスで授業を受けているときだった。
その時に近くに座っていたクラスメイト数人を、暴走した力で傷付けてしまった。
突然沸いた力が錯乱していた自分は、クラスメイトにろくに挨拶も出来ぬまま保護施設へと移動。
今後はUGNエージェントとして活動するために転校することとなった。
最後に転校のあいさつに行った時の、仲良くしていた友達から送られる恐怖が入り混じったような目は、今でもたまに夢に見る。